

相模原病院新型コロナ感染症発生の経緯と経過

相模原病院は令和2年2月6日より新型コロナ感染症者の受け入れを開始し、多くの新型コロナ陽性患者さまや疑いのある患者さまの受け入れを行ってきました。同時に感染防御の強化目的として院内感染マニュアルの再徹底、正面玄関での院内トリアージ、プレハブ棟による発熱外来、陰圧テントによるPCR検査、紫外線C波による消毒など様々な取り組みも行っております。このような成果で10月まで1例も新型コロナの院内感染を生じておりませんでした。

そんな中、今般10月20日に職員1名から新型コロナ感染陽性が判明し、以後直ちにICT（院内感染対策チーム）を中心として、陽性者及び接触者の隔離と院内サーベイランスを施行しました。10月26日までに接触者と思われる患者さま、職員に対し417件のPCR検査を施行し、この結果患者さま5名、職員8名計13名の新型コロナ陽性者を確認しております。すでにPCR検査は経過観察を含めそれぞれにつき2回～3回行っており、現時点でこれ以上の感染拡大は認めておりません。対策として陽性判明から直ちに当該1病棟及びリハビリセンターは閉鎖しております。また、一時的に救急車の受け入れをはじめとする救急患者さまの受け入れも中止していますが、11月2日に接触事例から概ね2週間が経過することより、再度経過観察PCR検査を施行し、この結果をもって目下のところ前述の病院機能を従来通り再開する予定であります。

今回の事例により多くの患者さま、医療機関の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけし深く謝罪申し上げます。今回のことを重く受け止め病院一丸となり最善の感染対策を今一度作り上げ皆様の安全安心を確保できますよう努める所存でございます。今後とも何卒よろしく願いいたします。

相模原病院 院長 金田悟郎